



平成30年1月18日

各 位

会社名 ANAホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 片野坂 真哉  
(コード番号 9202 東証第1部)  
問合せ先 コーポレートコミュニケーション室  
グループ総務部長 坂爪 浩  
(TEL . 03-6735-1001)

2018年度 ANAグループ航空輸送事業計画に関するお知らせ

当社 100%子会社の全日本空輸株式会社において、2018年度 ANAグループ航空輸送事業計画を策定いたしましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

以 上

## 2018年度 ANAグループ航空輸送事業計画を策定

～羽田＝バンコク線を増便し、『首都圏デュアルハブモデル』をさらに強化していきます～

～宮古・石垣への直行便を拡充します～

～北九州空港発の貨物専用機による新規路線を開設します～

ANAグループは、2018年度の航空輸送事業計画を策定いたしました。

これまでグローバルに拡大する航空需要を背景に、国際線を中心にネットワークの充実化を進めてきました。2018年度においても、国際線では羽田＝バンコク線をさらに増便するなど、羽田・成田の両空港それぞれの特性を活かした『首都圏デュアルハブモデル』をさらに強化していきます。国内線においては、旺盛な先島諸島の需要を背景に、中部＝宮古線、福岡＝石垣線を通年運航いたします。また、東京・大阪・名古屋に続き、福岡からも宮古への直行便を開設いたします。

貨物便においては、近年需要が増加している九州発貨物の輸送利便性を高めるべく、北九州路線を新たに開設します。九州で唯一となる定期貨物専用機の就航、及び沖縄貨物ハブの活用により、貨物事業の収益性の向上に努めてまいります。

また、快適性と居住性に優れた機材の導入を引き続き推進いたします。国際線においては、ビジネスクラスのフルフラットシート及びプレミアムエコノミーサービスを提供する路線をアジアにおいても、引き続き拡大いたします。あわせて、今年度においては、日本初となるエアバス A380 型機やボーイング 787 型機シリーズの最新モデルであるボーイング 787-10 型機を新たに受領する予定です。国内線においては、全席にシートモニターを装着したエアバス A321neo 型機を順次導入し2018年度末までに11機体制とします。

こうした路線ネットワークの拡充とあわせて、国内唯一の「5 スター」エアラインとして、定時性の向上をはじめとした、快適で高品質なサービスの向上に取り組んでまいります。

国際線、国内線、貨物専用便の路線便数、運航機種等の詳細は以下のとおりです。

\*これらの計画は関係当局への申請・認可を前提としております。

### 1. 国際線

国際線においては、6月1日(金)より、羽田空港の深夜早朝時間帯を活用し、羽田＝バンコク線を増便いたします。首都圏のみならず、国内線との乗継ぎによって国内各地とバンコクを結ぶアクセス利便性がさらに向上いたします。東京(成田・羽田)からのバンコク路線は1日5便となり、お客様のご都合に合わせた運航便の選択肢が広がるため、バンコクへのご出張・ご旅行がますます便利になります。

路線	羽田＝バンコク(増便)				
ダイヤ (現地時間)	NH877	羽田	00:55	⇒	バンコク 05:25
	NH878	バンコク	13:55	⇒	羽田 22:15 ※毎日運航
使用機材	ボーイング787-8 (ビジネスクラス42席、エコノミークラス198席)				

\* 当日の機材・運航状況により変更となる場合がございます。

羽田＝バンコク線の増便分につきましては、1月23日(火)より販売開始いたします。また、期間限定でスペシャル運賃の設定をいたします。詳細は後日ANA SKY WEBにてご案内いたします。

ANA広報部 03-6735-1111 成田 0476-34-7042 羽田 03-5757-5548 伊丹 06-6856-0270 関西 072-456-7890

また、ビジネスクラスのフルフラットシート及びプレミアムエコノミーサービスを提供する路線をアジアにおいても引き続き拡大するとともに、小型機でありながら中・大型機並みの機内設備のエアバス A320neo 型機を順次導入するなど快適性の向上に取り組んでまいります。あわせて、日本初導入でハワイ路線に投入予定の世界最大の旅客機エアバス A380 型機や、ボーイング 787 型機シリーズでもっとも長い胴体を持つ最新モデルであるボーイング 787-10 型機を新たに受領し、2019 年春から運航を開始する予定です。

## (1) 増便

路線	実施時期	現行	変更後	備考
羽田＝バンコク	6月1日～	14往復/週	21往復/週	
成田＝成都	3月25日～	4往復/週	7往復/週	
羽田＝香港		12～14往復/週	14往復/週	※1

※1 深夜早朝時間帯に運航の NH821/NH822を増便します。

## (2) 機材変更

路線	実施時期	現行		変更後		備考
		機材	週間便数	機材	週間便数	
成田＝サンノゼ	3月25日～	B787-8	7往復/週	B787-9	7往復/週	
成田＝北京	3月25日～	B767-300ER/B787-8		B787-8		※2
成田＝バンコク	8月15日～	B787-8 B787-9		B787-9	14往復/週	※2 ※3 ※4
成田＝大連	5月1日～	B767-300ER		B787-9	7往復/週	
成田＝クアラルンプール	6月1日～	B787-8		B787-9		※2 ※4
成田＝厦門	6月1日～	B767-300ER		A320neo		
成田＝台北(桃園)	8月15日～	B767-300ER		B787-8		※2
関西＝杭州	5月1日～	B737-700		A320neo		
関西＝北京	10月1日～	B767-300ER		A320neo		
羽田＝バンクーバー	3月25日～	B787-8/B787-9		B787-9		
羽田＝クアラルンプール	3月25日～	B787-8/B787-9		B787-9	※2	
羽田＝香港	6月1日 ～8月31日	B787-9 B767-300ER		B777-300ER B767-300ER	※5	
羽田＝北京	6月1日 ～8月31日	B777-300ER B787-8		B787-9 B787-8	※5	

※2 復路便は翌日からの機材変更となります。

※3 8月15日からNH805/806をB787-9に機材変更予定。

※4 機材変更に伴い、プレミアムエコノミーサービスの提供を開始いたします。プレミアムエコノミー席の販売開始は、決まり次第ANA SKY WEBにてご案内いたします。

※5 9月1日以降は、6月1日変更前の機材に戻ります。

\* 当日の機材・運航状況により変更となる場合がございます。

## 2. 国内線

旺盛な先島諸島の需要を背景に、中部＝宮古線、福岡＝石垣線を通年運航いたします。また、東京・大阪・名古屋に続き、福岡からも宮古への直行便を開設いたします。

引き続き、需要動向や競争環境に応じた路線便数の最適化と投入機種種の柔軟な調整を推進しながら、国内線ネットワークを充実させてまいります。また、全席にシートモニターを装着したエアバス A321neo 型機の導入をさらに進め、2018 年度末までに 11 機体制とします。

あわせて、4月より国内線の機内 Wi-Fi インターネットを無料でご提供するとともに、現在も無料でお楽しみいただいている機内 Wi-Fi エンターテイメントについても常時 100 コンテンツ以上に拡充いたします。最新機材の導入とあわせて、今後もサービス向上につとめ、新たな機内での過ごし方を提案してまいります。



A321neo 機内

※上記画像は以下のURLからダウンロード可能です。URL: <http://www.ana-press.com/2018-1-18/> (ダウンロード期間: 2018年2月1日17時まで)

## (1) 増便・再開

路線	実施時期	現行	変更後	備考
羽田＝石垣	3月25日～10月27日	2往復/日	2往復/日	期間増便継続
羽田＝沖縄		12往復/日	12～13往復/日	期間増便継続※1
羽田＝広島		10往復/日	10往復/日	期間増便継続
伊丹＝札幌	9月1～2日、7～9日 14～17日、21～25日、28～30日	6往復/日	7往復/日	
伊丹＝沖縄	4月28日～5月6日 7月14日、16日、 7月27日～8月29日、10月6～8日	3往復/日	4往復/日	
関西＝札幌	3月25日～10月27日	3往復/日	3～4往復/日	※2
関西＝宮古	7月14日～9月30日	1往復/日	2往復/日	
中部＝宮古	3月25日～	-	1往復/日	通年運航※3
中部＝福岡	3月25日～	5往復/日	7～8往復/日	※4※5
中部＝札幌	3月25日～	4往復/日	5～6往復/日	※6※7
中部＝沖縄	4月28日～5月6日 7月14日～9月30日 10月6日～8日	2往復/日	3～4往復/日	※8
仙台＝札幌	3月25日～	3往復/日	4往復/日	※7※9
岡山＝札幌	3月25日～	-	1往復/日	再開 ※10
福岡＝宮古	6月1日～10月27日	-	1往復/日	再開 (期間運航)
福岡＝石垣	3月25日～	-	1往復/日	通年運航※11

## (2) 減便・運休

路線	実施時期	現行	変更後	備考
伊丹＝福岡	4月28日～5月6日 9月1～2日、7～9日、14～17日 21～25日、28～30日 10月6～8日	5往復/日	4往復/日	
伊丹＝鹿児島	7月14日、16日 7月27日～8月29日	6往復/日	4～5往復/日	※12
関西＝旭川	3月25日～	-	-	※13
中部＝松山	3月25日～	4往復/日	2往復/日	※9
福岡＝仙台	3月25日～	2往復/日	1往復/日	※14
福岡＝新潟	3月25日～	2往復/日	1往復/日	※9
福岡＝沖縄	3月25日～	8～9往復/日	8往復/日	
沖縄＝石垣	3月25日～7月13日 10月1日～27日	5～7往復/日	6往復/日	※15
沖縄＝宮古	3月25日～	5～6往復/日	5往復/日	
石垣＝宮古	3月25日～	1往復/日	-	

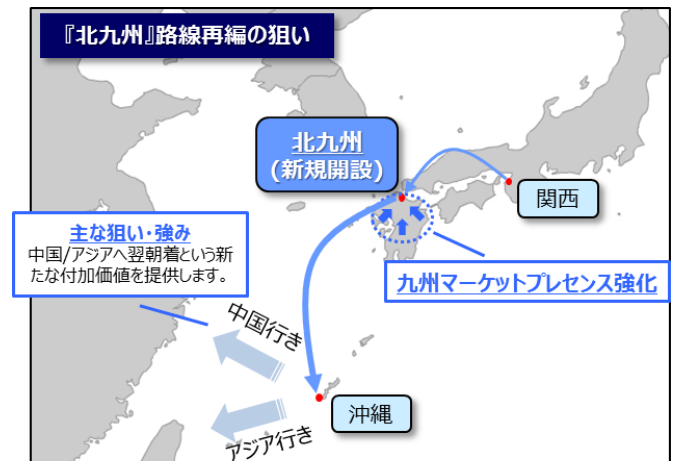
- ※1 7月13日～8月31日は13往復とし、深夜便「ANAギャラクシーフライト」(6往復/週)を運航します。
- ※2 4月20日、25日、27日～5月6日、11～13日、17～20日、25～27日、6月1日～10月27日は4往復。
- ※3 2017年度は6月17日～10月28日に期間運航を実施。
- ※4 3月25日、30～31日、4月1日、28日～5月6日、11～13日、18～20日、25～27日、8月9日～19日は8往復。
- ※5 アイベックスエアラインズ運航便とのコードシェアを休止いたします。
- ※6 7月14日～9月30日は6往復。
- ※7 エアドゥ運航便とのコードシェアの便数を変更いたします。詳細につきましてはANA時刻表またはANA SKY WEBをご確認ください。
- ※8 4月28日～5月6日は4往復。
- ※9 アイベックスエアラインズ運航便とのコードシェアを開始いたします。詳細は1月18日発表のIBX/ANA共同リリースにてお知らせいたします。
- ※10 エアドゥ運航便とのコードシェアを休止いたします。
- ※11 2017年度は4月28日～5月7日、6月17日～10月28日に期間運航を実施。
- ※12 一部、運航便数が異なる期間がございます。詳細につきましてはANA時刻表またはANA SKY WEBをご確認ください。
- ※13 2017年度は7月14日～9月30日に期間運航を実施。
- ※14 アイベックスエアラインズ運航便とのコードシェアの便数を変更いたします。詳細は1月18日発表のIBX/ANA共同リリースにてお知らせいたします。
- ※15 7月14日～9月30日は7往復。

再開する路線の運賃については、「ANA NEWS 第17-096号」「ANA NEWS 第17-097号」(いずれも1月18日付)をご覧ください。

### 3. 貨物専用便

貨物便においては、近年貨物需要が増加している北九州路線を新たに開設し、九州発貨物の輸送利便性を向上いたします。九州エリアには半導体や自動車産業などの製造業が集積しており、九州唯一の定期貨物専用機の就航により、貨物機にのみ搭載可能な特殊貨物・大型貨物等の取扱いも可能となることで、九州マーケットのプレゼンス強化を図ります。

また、沖縄貨物ハブの活用により、中国・アジア各都市へ翌朝にお届けすることができます。貨物ネットワークの再編により、収益性の向上を図るとともに、九州エリアの地域活性化にも貢献してまいります。



路線	関西－北九州(新規開設)－沖縄				
ダイヤ (現地時間)	NH8565	関西	22:00	⇒	北九州 23:10
	NH8566	北九州	00:40	⇒	沖縄 02:30
	※5片道/週				

#### (1) 新規開設・増便

路線	実施時期	現行	変更後
成田-天津	8月28日～	※1	5片道/週
関西-北九州-沖縄	6月4日～	-	5片道/週

※1 成田-天津は、2017年度は3月28日～8月27日に期間運航を実施。

#### (2) 減便・運休

路線	実施時期	現行	変更後
成田-関西	3月25日～	※2	-
関西-天津	3月25日～	※2	-
関西-中部-沖縄	6月4日～	5片道/週	-

※2 成田-関西、関西-天津は、2017年度は8月28日～10月28日に期間運航を実施。